RICOH
imagine. change.

リコーの「環境・エネルギー」への取り組み

ー脱炭素・RE100・SDGsー

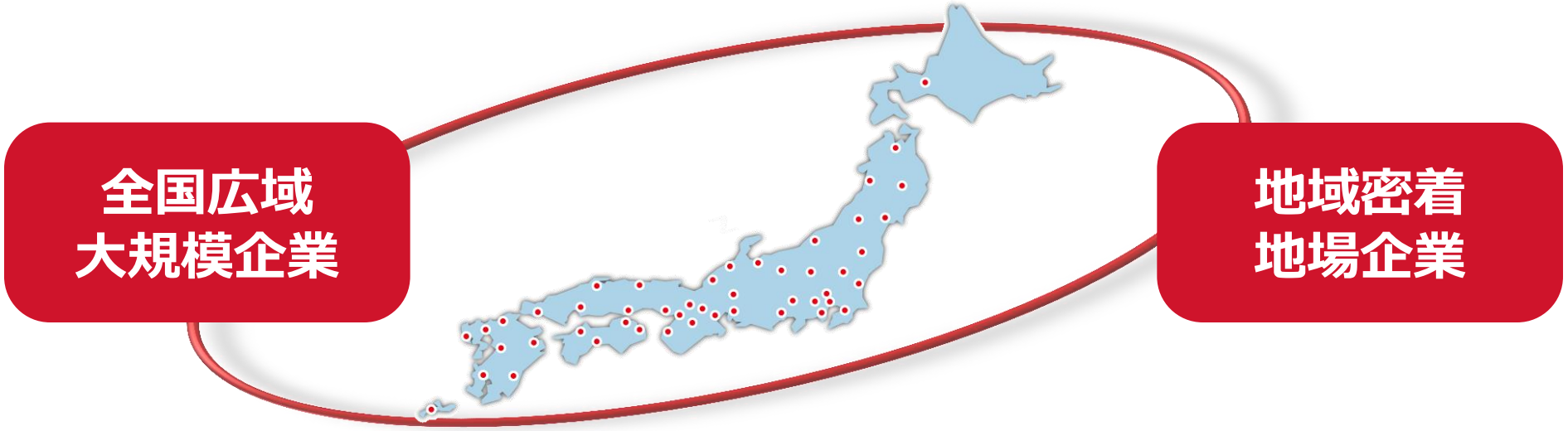
2018年12月17日

リコージャパン株式会社
社会インフラ事業部
顧問　染川聡一郎

リコージャパンの概要

名称	：	リコージャパン株式会社（RICOH JAPAN Corporation）
創立	：	1959年5月2日
資本金	：	25億円
代表者	：	代表取締役 社長執行役員 CEO　坂主 智弘
売上高	：	602,735百万円（2017年3月期）
従業員数	：	19,309名（2017年4月1日現在）
拠点数	：	364拠点（2017年4月1日現在）
事業所	：	[本社]東京都港区芝3-8-2 芝公園ファーストビル [支社]全都道府県に48支社を配置

代表取締役 社長執行役員 CEO
坂主 智弘



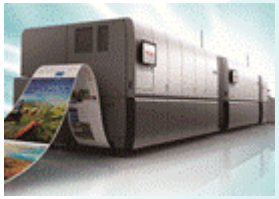
リコージャパンの事業領域

RICOH imagine. change.

オフィス領域におけるワンストップソリューションの提供に加え、さまざまな業種のお客様の現場、さらに産業や社会インフラ領域まで価値提供の場を広げ、お客様のその先のお客様にまで届く価値を創出することを目指しています。

産業ソリューション

お客様の本業に直結する
産業分野の課題解決を支援



商用印刷

3Dプリンター

FAカメラ

産業用インクジェット

ビジネスソリューション

お客様の経営課題や業務課題の解決を支援
- オフィスから、さまざまな業種のお客様の現場へ -

製造業
流通
ヘルスケア
教育
金融

SI・アプリケーション
ワークプレイス

コミュニケーション

画像(複合機・プリンター)

ITインフラ

社会インフラ

スマート社会実現への貢献、
安心・快適なまちづくりの支援

地方創生/まちづくり

環境・エネルギー

MICEソリューション

産業分野 ― 現場 ― オフィス ― 現場 ― 地域社会

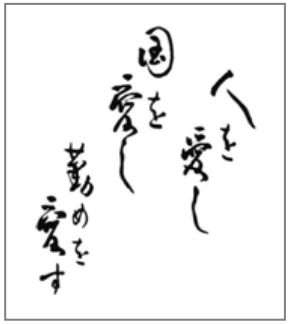
Copyright RICOH JAPAN Corporation All Rights Reserved.

リコーの脱炭素社会実現への取り組み

リコーウェイ　―創業の精神・経営理念―

● 創業の精神

「人を愛し、国を愛し、勤めを愛す」 ―三愛精神―



―創業の精神―

● 経営理念

私たちの使命

世の中の役に立つ新しい価値を生み出し、提供しつづけることで、
人々の生活の質の向上と持続可能な社会づくりに積極的に貢献する

私たちの目指す姿

世の中にとって、なくてはならない信頼と魅力のブランドでありつづける

私たちの価値観

顧客起点で発想し、高い目標に挑戦しつづけ、チームワークを発揮して
イノベーションを起こす

高い倫理観と誠実さを持って仕事に取り組む

創業者 市村 清

なぜ、リコーが脱炭素に取り組んでいるのか

リコーグループがエネルギー分野に取り組む経緯：

リコーウェイ

社会動向

1997年
・COP3　（京都議定書）

2015年
・COP21（パリ協定）
・国連サミット（SDGs）

環境経営提唱（1998~）

リコーが取り組む５つの重要社会課題(2002~)

リコーグループ環境宣言　（2017）

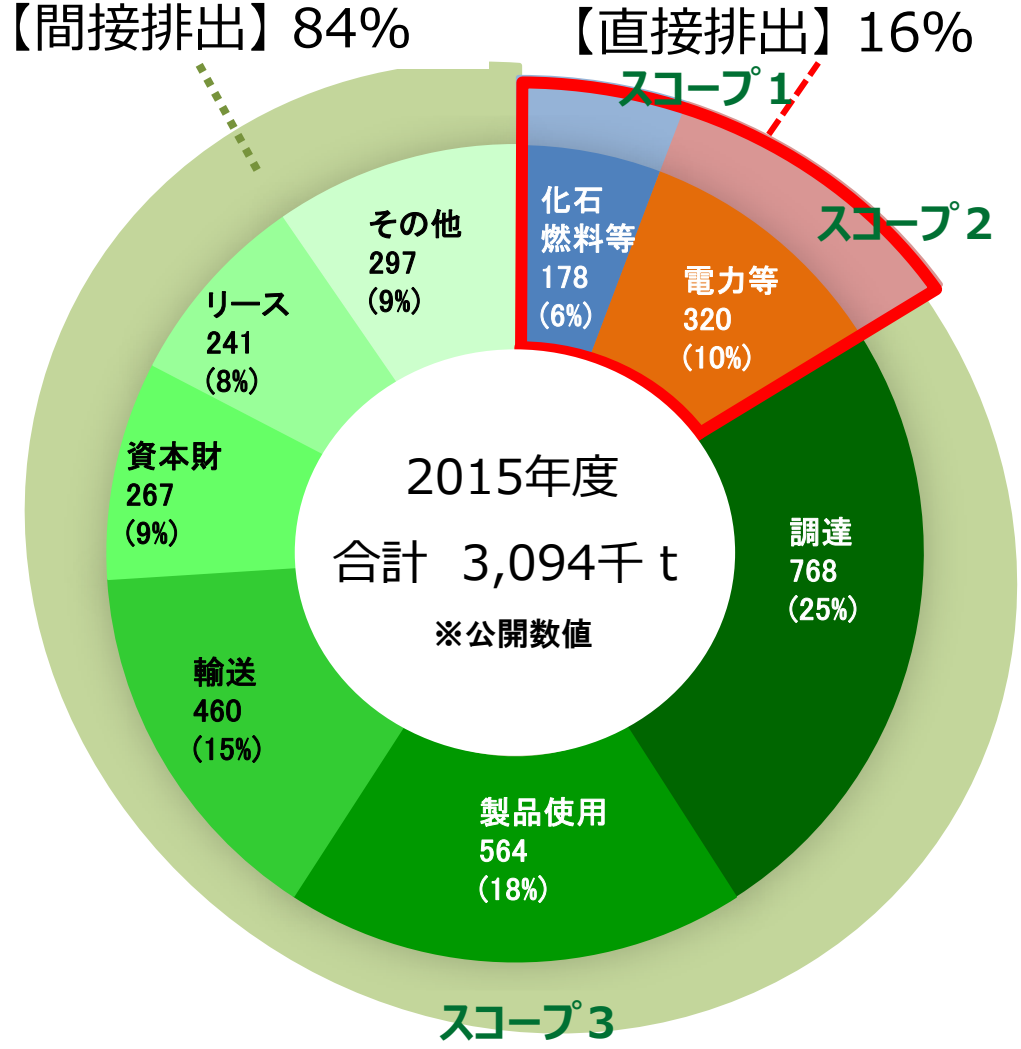
環境負荷削減と地球の再生能力向上に取り組み、事業を通じて**脱炭素社会・循環型社会**を実現する。

2030年目標
・スコープ１，２　　30%削減
・スコープ３　　15%削減

2050年目標
・バリューチェーン全体の
GHG排出ゼロを目指す

リコーグループの現状と脱炭素に向けた取り組み

リコーグループの現状



脱炭素に向けた取り組み

- ①事業所の省エネの徹底
- ②再生可能エネルギー（自家発電）
- ③再生可能エネルギー調達
- ④社有車のEV化
- ⑤ZEF・ZEBの取組み

Etc.

脱炭素に向けた世界のトピック

RICOH imagine. change.

■ Science Based Targets (SBT) 温室効果ガス削減目標の設定

- **世界認定 113社 （内 日本 20社）** （18年.6月14日現在）
  第一三共、電通、富士フィルム、富士通、川崎汽船、キリン、コマツ、コニカミノルタ
  LIXIL、ナブテスコ、パナソニック、**リコー**、積水ハウス、ソニー、戸田建設、
  サントリー食品、サントリーホールディングス、ユニ・チャーム、丸井グループ、日本郵船
- **304社が新たに認定を目指している （内 日本39社）**
  イオン、味の素、アサヒグループ、アシックス、三菱電機、花王、ホンダ、日産、ヤマハ、 etc.

■ RE100

- **世界 154社（内 日本13社）が 再エネ100%を約束** （18年10月16日現在）
  リコー、積水ハウス、アスクル、大和ハウス、ワタミ、イオン、城南信金、
  丸井グループ、富士通、エンビプロ・ホールディングス、ソニー、芙蓉総合リース、コープさっぽろ
- **イビデン は Apple の「RE100」の要請で、再生可能エネルギーの調達を実施**
- **環境省（6/15参加表明）、外務省（河野大臣談話で参加検討）**

■ 資源エネルギー庁

- **非化石価値取引市場の創設**

■ 環境省

- **ブロックチェーン技術を活用した再エネCO2削減価値創出モデル事業の採択**

参考）リコー環境事業開発センターの概要

旧 御殿場工場

・所在地：静岡県御殿場市駒門
・敷地面積：約10万㎡
・延床面積：約　7万㎡

➢ *1985* 同地に「御殿場工場」設立
～主に複写機生産のマザー工場～
➢ *1995* ISO14001認証取得（日本初）
➢ *2013* 国内生産機能再編に伴い生産終息

⇒ **２年間閉鎖**

＝狙い＝
この遊休資産を有効活用し **環境関連事業を創出する拠点**へ

➢ 実験室を飛び出し、スケールアップした実証研究を！
➢ 自治体・企業・大学と連携を強化し、事業開発を加速！

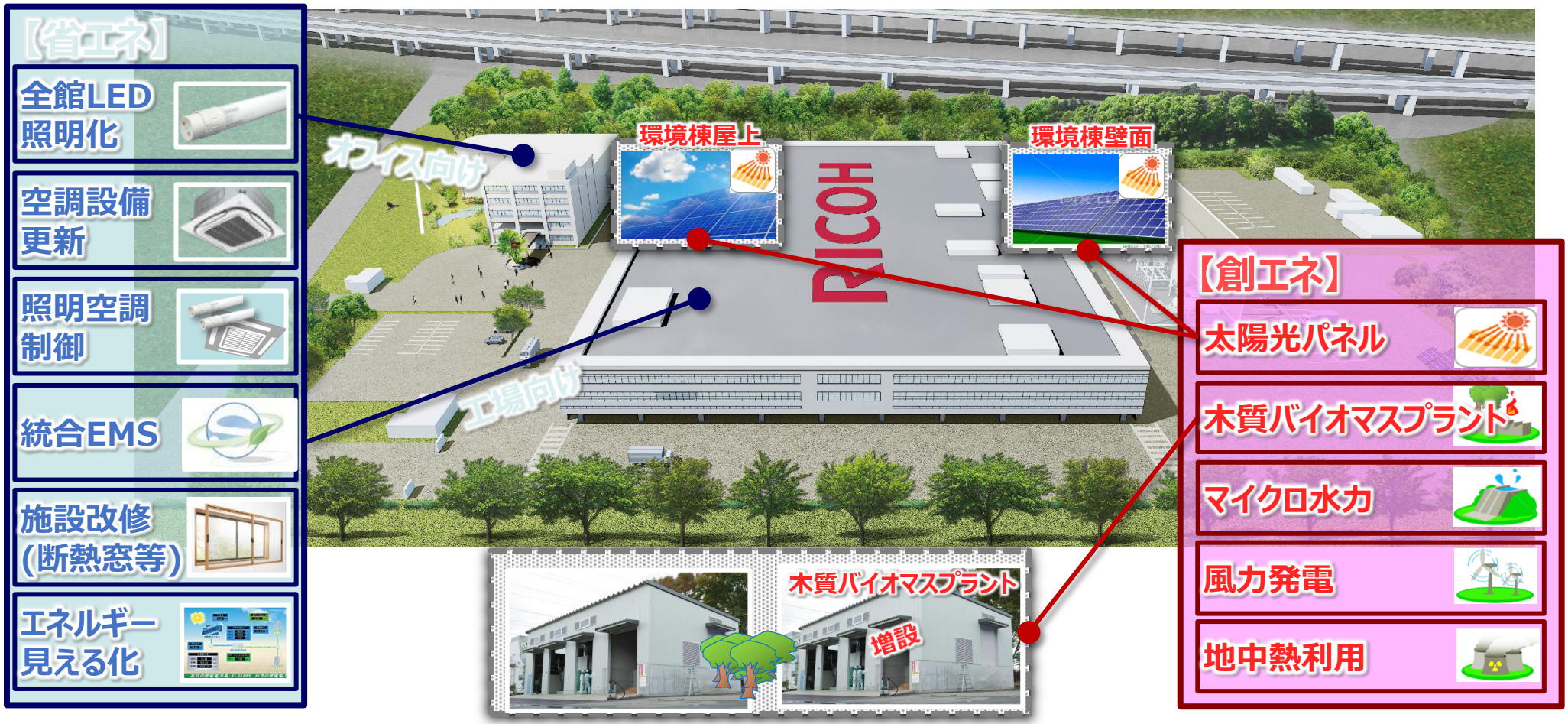
➡ **オープンイノベーション**

人員:約800名

参考）リコー環境事業開発センターの位置付け

RICOH imagine. change.

- ✓ “環境関連事業の開発加速” および “リコー環境目標達成”に向け、**リコー環境事業開発センター（御殿場）をRE100先行実践拠点**とする
- ✓ 御殿場では、**自社開発商材の実証導入**を進めるとともに、**RE100達成にむけたプロジェクト活動を進め、ノウハウを獲得**する



参考）御殿場RE100達成シナリオ

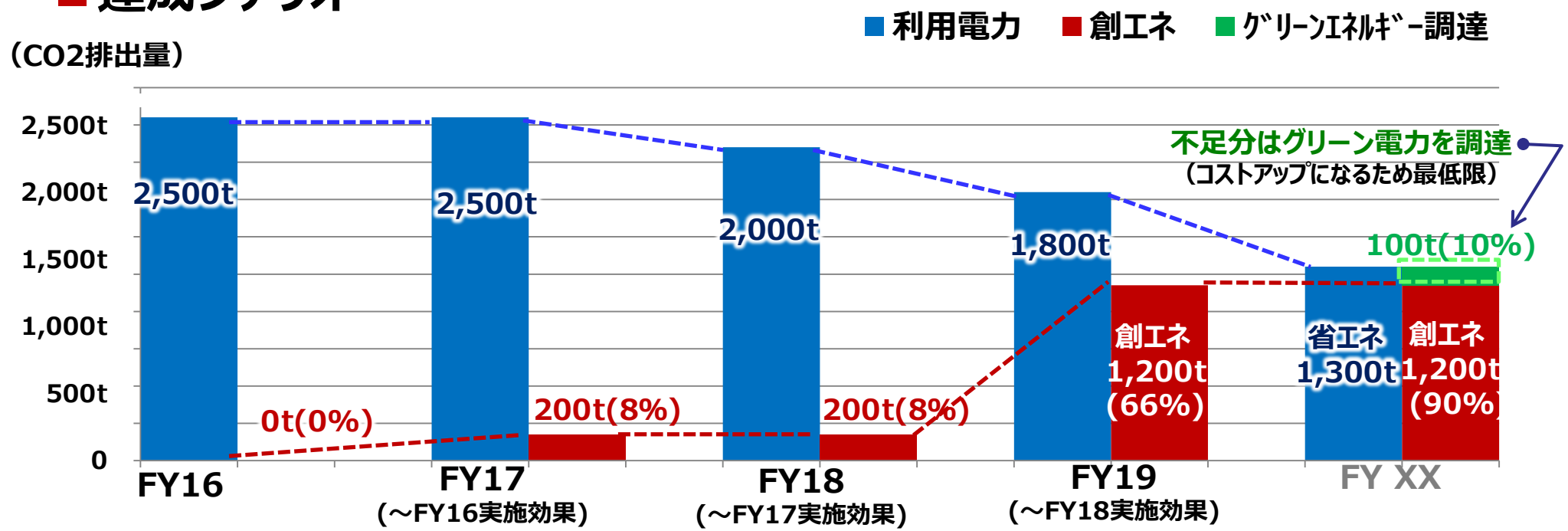
■達成に向けた基本的な考え方

※数字はイメージです。

0）使用エネルギーの見える化
1）自社開発商材を実証導入（商品化加速＆RE100貢献）
2）老朽化した設備を省エネ性能の高いものに更新
3）ROI5年以下でより短いものから優先して導入　※並行し運用での削減も進める

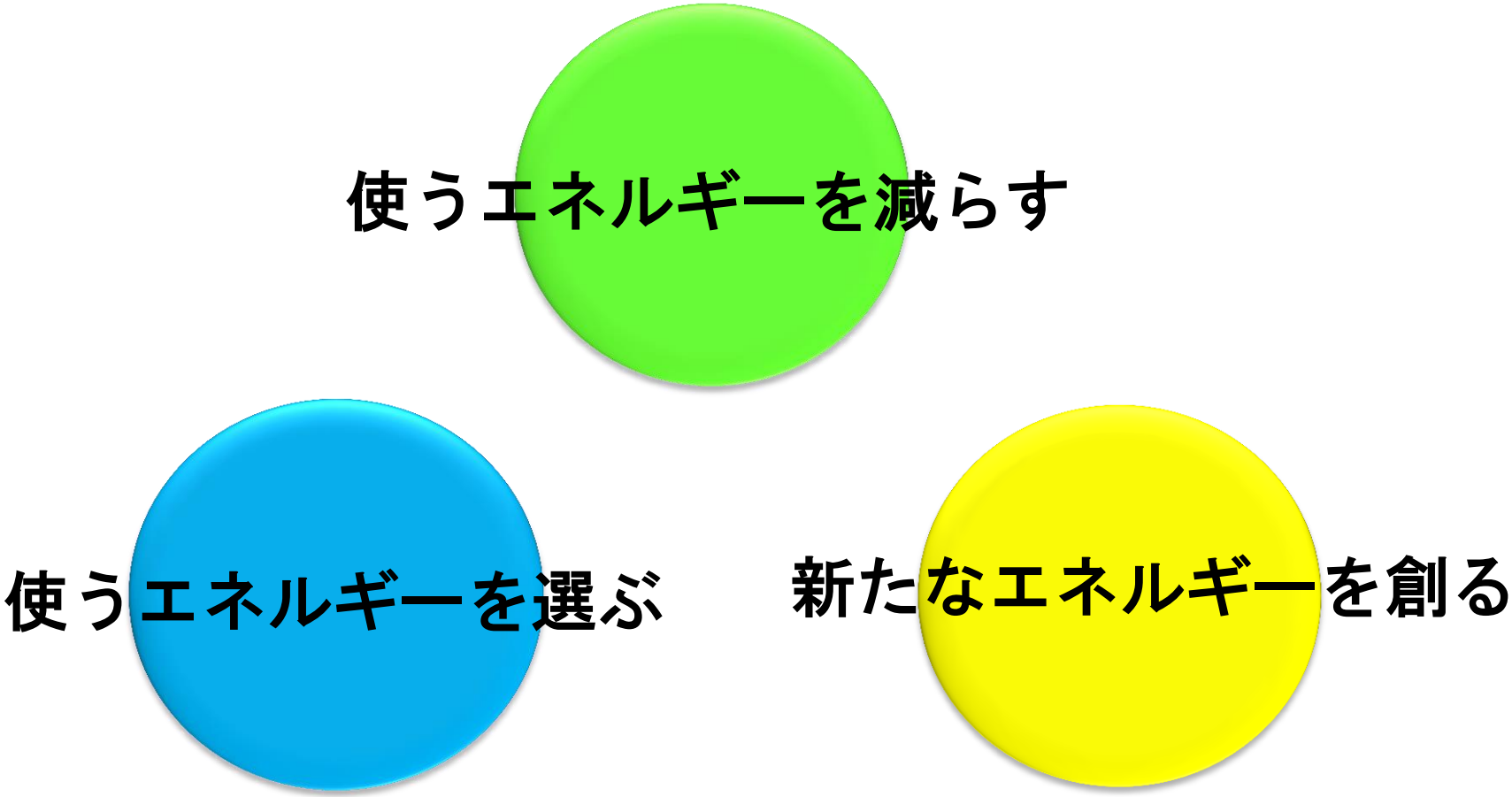
CO2削減目標　省エネ 1,200t削減　創エネ 1,200t創出　グリーン電力 100t調達

■達成シナリオ



社会インフラ事業部の取り組み

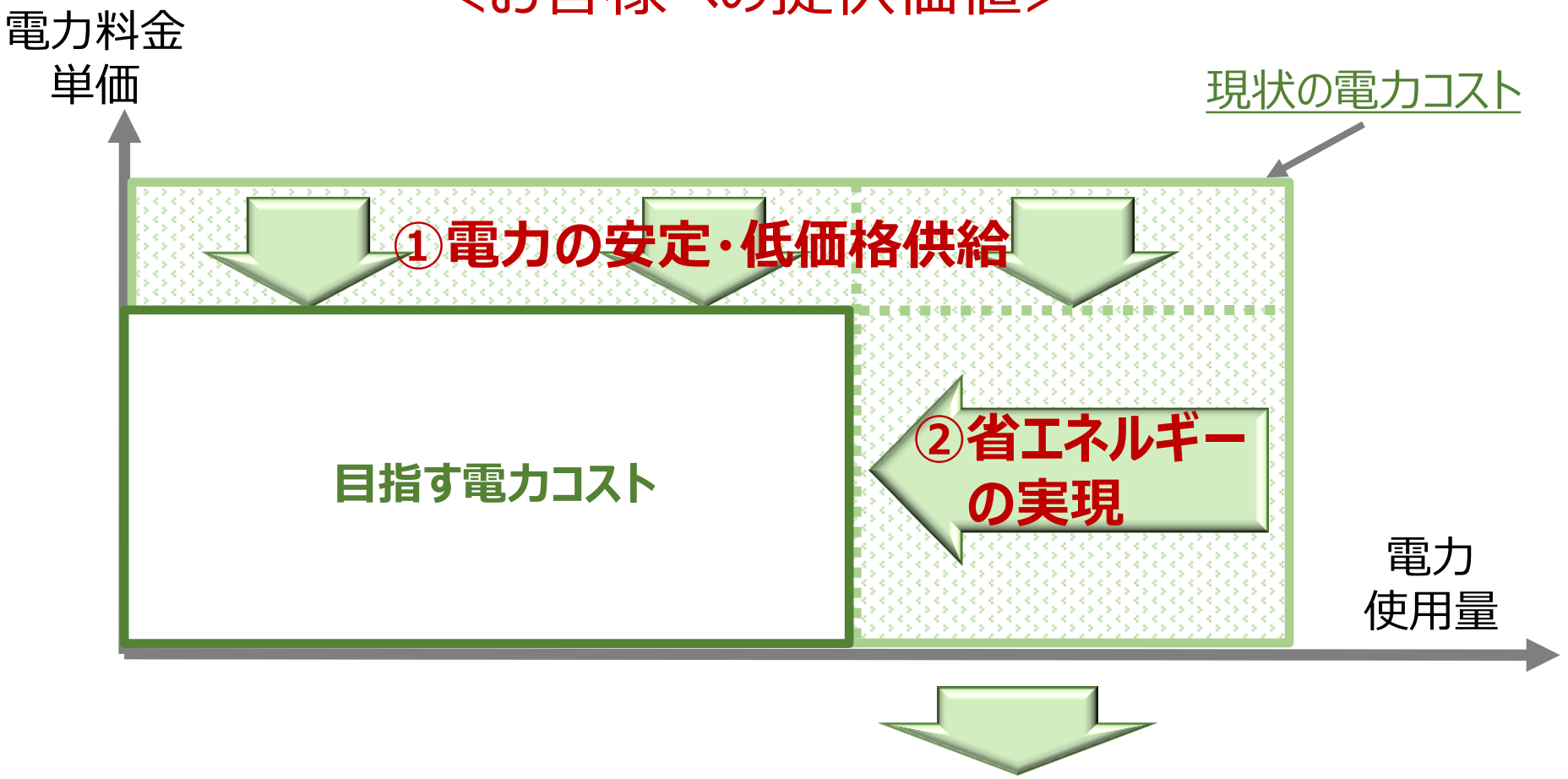
脱炭素社会の実現



使うエネルギーを減らす

【電力販売サービス・エコソリューション（省エネ）分野】

＜お客様への提供価値＞



電力コスト・環境負荷低減に貢献

使うエネルギーを選ぶ

RICOH imagine. change.

【再生可能エネルギーの調達】

・太陽光発電の電力
・風力発電の電力
・バイオマス発電の電力　　etc.

【EV自動車の活用】

・EV充電器トータルサポート

使うエネルギーをつくる

RICOH imagine. change.

【屋根がり太陽光発電】

未使用の屋根（屋上）をお借りして、
太陽光発電事業を行います。

【太陽光発電O&Mサービス】

太陽光発電所の運営支援を行います。

脱炭素に向けた取り組みステップ

STEP1

現状で行うコスト削減
1）新電力契約
2）ピークアラートメール活用

電力使用状況の確認

可視化

診断

STEP2

更なるコスト削減に向けた設備・運用改善提案

STEP3

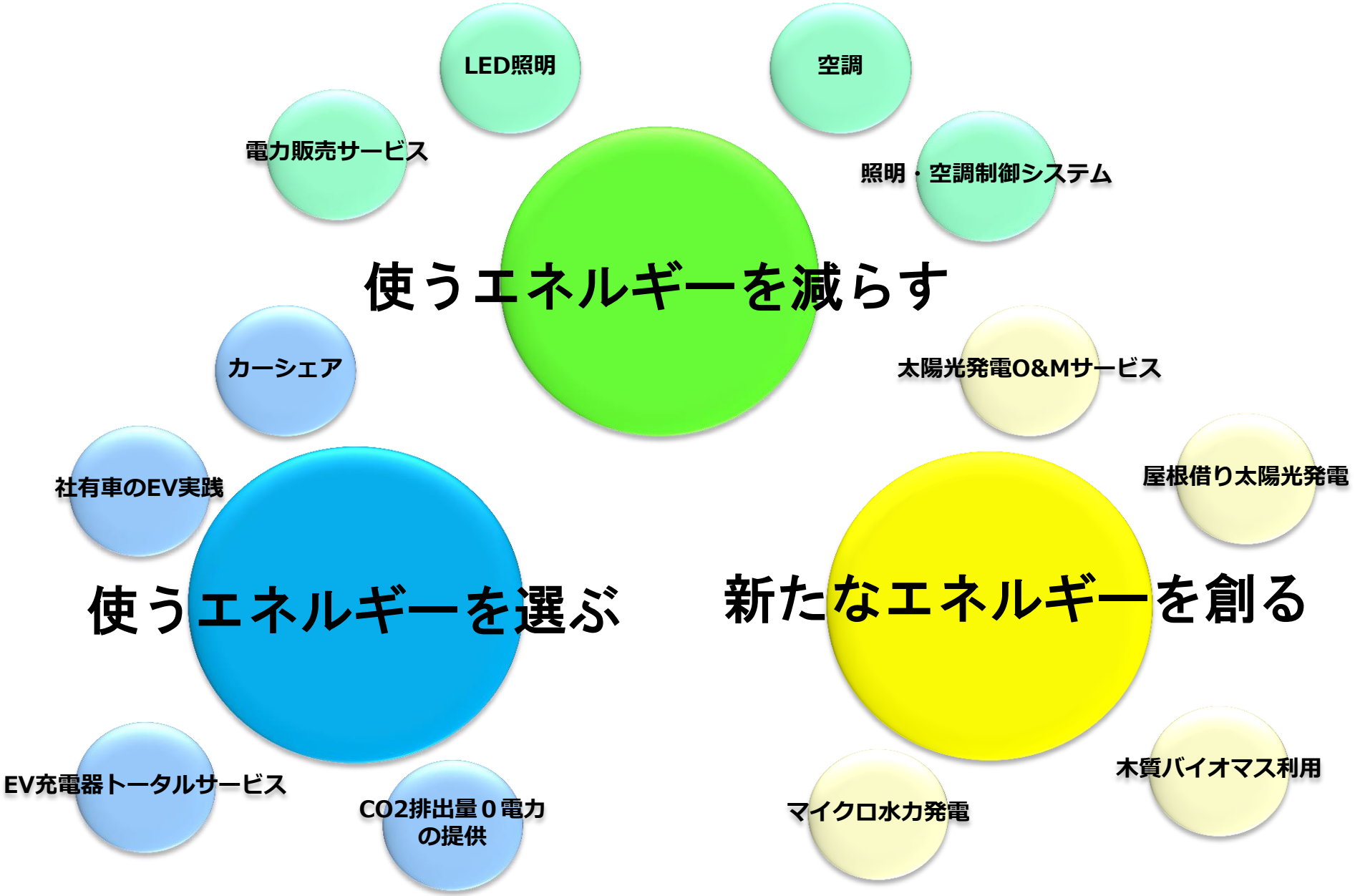
自家消費と効率利用

STEP3

STEP2

STEP1

リコーの環境・エネルギー事業の取組



RICOH

imagine. change.